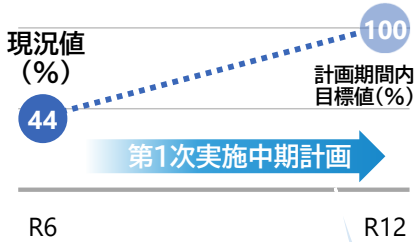


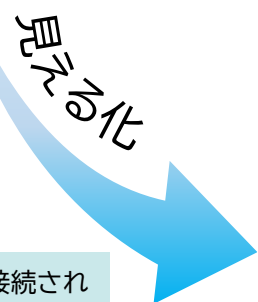
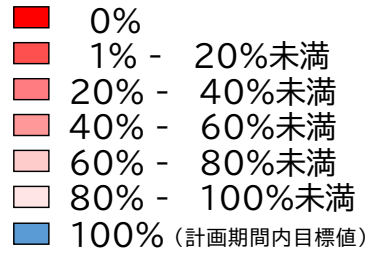
# 【84】建設生産プロセスにおける新技術等の開発・活用を通じた災害対策の高度化【国土交通省】

指標名：地方整備局の主要な災害時活動拠点（本局・事務所等：89 か所）におけるインフラ DX ネットワーク（高速・大容量の通信環境）への接続完了率

## ■ 全国値



## ■ 地方ブロック別



## ■ 指標の定義

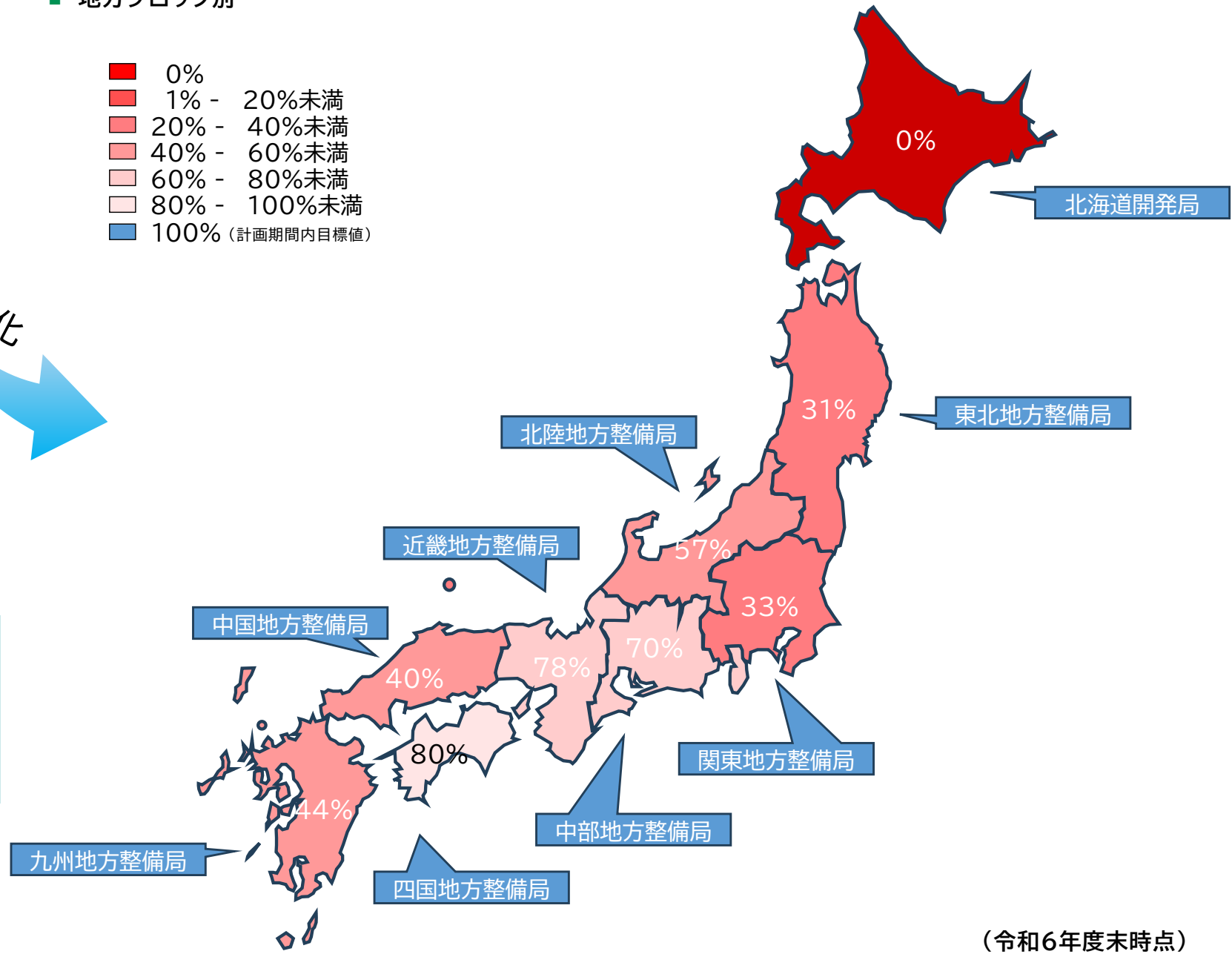
（（「インフラDXネットワーク」に接続された本局や事務所等の拠点数（累積））／（「インフラDXネットワーク」への接続を目指す本局や事務所等の拠点数））×100

## ■ ポイント

生産性や安全性等を向上させる新技術を活用するための環境整備や、建設分野の技術開発の促進を行うことで、平時における建設生産プロセスの高度化・効率化を図るとともに、発災時における、新技術を活用した被災現場の迅速かつ的確な状況把握、応急復旧を実現する。

## ■ 用語解説

●インフラ DX ネットワーク  
インフラ分野のDX環境整備促進のため、河川道路管理用光ファイバを活用して、日本全国を100Gbpsの高速・大容量回線で接続し、3次元モデル等の大容量データを円滑に利活用できるもの



(令和6年度末時点)